

2022 年 12 月 14 日

学校法人 近畿大学
理事長 世耕 弘成 殿

近畿大学教職員組合
執行委員長 光永 靖

団体交渉要求書

近畿大学教職員組合（以下、本組合）は、学校法人近畿大学（以下、貴法人）に対し、裁量労働制を適法に運用し、かつ、安易な適用除外をしないよう要求する。

言うまでもないことであるが、専門業務型裁量労働制はすべての大学教員に適用できる制度ではなく、主として研究に従事する教員に限定される。「主として研究に従事する」とは、業務の中心が研究であり、研究以外の業務に従事することがあっても、その時間は週の所定労働時間の約 5 割未満でなければならない。

本組合は、貴法人が裁量労働制の導入を宣言した時から、「現状の業務量ではこの適用要件を満たせないのは確実なので、導入前に研究以外の業務を削減せよ」と団交等で繰り返し主張してきた。それに対し貴法人は、業務負担の軽減を主たる検討対象と認識しながらも、「導入後に問題が生じたらその都度対処する」と述べ、また、準備に 1 年以上の猶予期間があったにもかかわらず事前の対応を怠った。そのうえ、導入後にも業務削減の対応を検討していない。これは、導入前の団交で本組合に述べたことを反故にする行為であり、不誠実団交に該当する。

導入後の団交で、貴法人の代理人は「制度は理解しているので、5 割の研究時間を確保できることを目指そうと考えている」「研究者として本当に大事なことは何かというような議論・文脈であれば一緒に考えましょうということになる」等と述べているが、境労務課長や石原労務課長補佐は、組合員が労働時間記録を根拠に 5 割要件を満たすことができないと指摘しても、業務削減を検討することもせず、「法人は時間を指定して業務命令をしていない」「週 6 コマであれば 540 分の業務しか命じていない」等、黙示の業務命令を度外視した説明に終始するのみである。これは、「大学の授業は教室でしゃべるだけ」という認識であり、教育業務に対する冒瀆にほかならず、このような考え方をする者は大学運営に関わるべきではない。そして、「それでも適用要件を満たしていないと主張するならば、適用除外とするほかない」と教員に責任を転嫁し、業務削減を検討もせず、適用除外に言及する。貴法人が主導して裁量労働制を導入しておきながら、貴法人の責任で業務削減をすることもなく、安易に適用除外としようとする事自体、不誠実そのものであるが、問題はそれだけにとどまらない。貴法人の構想している適用除外となった場合の働き方は、裁量労働制導入以前の働き方とはまったく異なり、教員から自由な研究環境を奪う

ものであって、明らかに労働条件の不利益変更である。こうした対応は、本組合が労働時間を記録することで貴法人の不誠実・不十分な対応を指摘することを抑圧するための脅し・報復にほかならず、悪質きわまりない。のみならず、団交で貴法人の意向として述べたことと異なる対応を労務課職員がするという事は、団交で時間をかけて議論したことを無効化することと同義であり、結果としてその団交での対応が不誠実だったことになる。いずれにしても、貴法人の対応は不当労働行為に該当するものである。貴法人は、今後はこのようなことがないよう、労務課職員を指導し、適用除外ではない形で裁量労働制を適法に運用できるよう努めよ。今後、同様の対応が続くようであれば、境労務課長と石原労務課長補佐の更迭を求める。

なお、組合員が労働時間記録に基づいて研究以外の業務の辞退を申し出て、それを認めないということがあれば、ストライキによる業務辞退を実施することをあらかじめ通告しておく。

加えて、裁量労働制とも関連し、以下の事項について改善を求める。

1. ジョブカンにおける休憩時間記録の改竄（自動的に一律 1 時間の休憩時間を計上すること）をただちに中止すること。
2. ジョブカンで休日出勤を申請する際、振休を取得しないと申請できないというシステムゆえに、振休を取得できない場合には虚偽申請をせざるを得ない。振休を取得できるように業務削減をするのは当然として、ジョブカンも虚偽申請をする必要がないよう、振休の申請なしで休日出勤申請が得きるよう改めること。
3. ジョブカンで記録しているのは労働時間ではなく、その一部である在校時間であるが、在校時間だけでも過労死ラインに達している教員も少なくない。貴法人は、ジョブカンの導入理由として健康管理を挙げているが、在校時間の長い教員に対し、どのような対応をしているのか説明せよ。
4. 育児介護休業法に基づき、短時間勤務や所定外労働時間の免除・軽減を申し出た教員に対し、形式だけの対応ではなく、実際に負担軽減となるよう対応せよ。形式面を取り繕うため、労働条件の不利益変更となるような対応は論外である。

回答は一週間以内とする。

以上